

電話一本、詐欺の罠！オール吹田で特殊詐欺対策

1. 背景・経緯

吹田市では特殊詐欺の被害件数が非常に多く、令和4年には、府内ワースト2位（※警察署管内別ではワースト1位）という状況になっていた。この状況を受け、吹田市は「吹田市特殊詐欺集中対策本部」の設置を決定。

また、対策本部において4本のアクションプランを設定し、対策を行うこととした。

吹田市特殊詐欺集中対策本部

○期間： 短期集中型

令和5年8月1日～令和5年12月31日

○構成：市・警察・市内関係機関

本部長：吹田市長

副本部長：吹田警察署長

構成員：吹田市特別職・各部長等、吹田警察署副署長・各課長 等

関係機関：大阪府危機管理室治安対策課・大阪府警察本部・吹田防犯協議会・吹田市社会福祉協議会・市内郵便局5局・市内銀行20社22支店・市内コンビニ4社 他市内企業等

○会議体：危機管理対策会議（市） 全3回

関係者調整会議（市内関係機関）全4回

吹田市特殊詐欺集中対策本部会議（市・警察・市内関係機関）全3回

アクションプラン 4本の柱

高齢者対策

大学生対策

金融機関対策

コンビニ対策

啓発の強化

危機管理室（主に福祉部、都市魅力部）

(1) 特殊詐欺そのものの周知強化

- ・年金支給日のATM、金融機関、スーパー等でのチラシ配布
- ・アポ電の多い地域への出前講座実施
- ・敬老行事など高齢者が多い集会での周知
- ・高齢者宅に訪問する事業者を通じての周知
- ・高齢者と接点のある施設での周知
- ・大学への周知

市民総務室（主に教育委員会）

(2) 防犯機能付き電話機購入補助制度の周知

- ・地域説明会やスーパー等での相談会の実施
- ・防犯協議会・防犯相談員からの周知
- ・子ども世代（40～50代）への周知
→PTA等の活用



ATM・コンビニでの警戒の強化

吹田警察署

(1) ATM警戒の強化

- ・被害の多いATM（時間外の金融機関含む）での警戒と声掛け
- ・ATMシステム改修（金融機関と要協議）



事業者

(2) 「シャットアウト！特殊詐欺0（ゼロ）運動」実施

- ・ステッカーを作成し、協力店に配布
- ・コンビニ店員による声掛けの強化
- ・主に電子マネー（プリペイドカード）の購入時の注意喚起



2. 特殊詐欺撲滅への取組み

(1) マスメディアを通じて「詐欺のやりにくい街」をアピール

ガンバ大阪のチアリーディングチーム(ガンバチア)を特殊詐欺集中対策スペシャルサポーターに任命し、街頭でパレードや啓発を実施。また、ランニングをしながら啓発を呼び掛ける「ランニングパトロール」や、期間を定めて複数の ATM 前で詐欺対策を呼び掛けるなど、マスメディアに取り上げてもらえるような大きな活動をする事で、吹田市の取り組みを広く周知し、特殊詐欺の犯人グループへ向けて、「吹田市は一丸で対策をしている」「吹田市は詐欺がやりにくい街」ということをアピールした。



▲ランニングパトロール出発式の様子



▲ATM 前警戒の様子

(2) 会議の実施

市での会議、関係機関との事前調整の会議を経て、本部会議を実施。

市・警察の要望、また関係機関の要望を互いに検討するとともに、

各機関が持ち寄った先進事例の共有の場となった。



▲危機管理対策会議(市)



▲関係者調整会議(関係機関)

▼吹田市特殊詐欺集中対策本部会議(全関係機関)



3. 今後の課題

集中対策としたため、令和5年12月末をもって吹田市特殊詐欺集中対策本部は終了したが、引き続き各機関での詐欺対策・警戒は継続されている。

また、集中対策活動を通じて、啓発だけでなく金融機関等による取引制限等の水際での対策の必要性を強く認識したため、近隣他市とも連携し、水際対策の働きかけを実施している。

<問合せ先>

吹田市 危機管理室 電話:06-6384-1753